

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 平成30年度 鹿児島港巡視船基地係留設備等設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	No. 1	調査位置	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目1-11	北 緯	31° 28' 14.0"
発注機関	海上保安庁第十管区海上保安本部総務部	調査期間	2018年 8月 2日 ~ 2018年 8月 6日	東 経	130° 31' 58.8"
孔口標高	DL+ 4.74m	角 度		試験機	東邦地下工機製 DD型
総削孔長	20.15m	方 位		エンジン	ヤンマー製 NFD8型
				ポンプ	東邦地下工機製 BG3C型

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 日
												深 度 (m)	100mm ごと の 打 撃 回 数	打 撃 回 数 の 貫 入 量	50 回 の 貫 入 量	自 沈 時 の 貫 入 量				
	4.49	0.25		原裝工(コンクリート)		成 灰				補装										
	4.19	0.55		原裝工(砕石)		成 灰				砕石										
	4.02	0.68		原裝工(シラズ)		成 灰														
1				埋土(シラズ)		成 灰														
2				埋土(シラズ)		成 灰				細砂主体、φ2mmの礫や軽石を混入する。										
3				埋土(シラズ)		成 灰														
4	1.29	3.45		埋土(砂)		褐 灰		rd1		砂は細~中砂主体、全体に火山灰質砂を含む。全体にφ2~10mmの貝殻片を混入する。下部ほど混入量が少なくなる。深度4.00m、6.00mの貫入試料にφ30mmの軽石を含む。深度7.00mの貫入試料は火山灰質砂主体で、含水量が多く脆弱である。	8/3 2.90									
5				埋土(砂)		褐 灰		rd1												
6				埋土(砂)		褐 灰		rd1												
7				埋土(砂)		褐 灰		rd1												
8	-3.26	8.00		砂		褐 灰		rd1		全体にφ2~10mmの貝殻片を混入する。深度8.00~12.45m間、中~粗砂主体。以深、細~中砂主体。深度10.00mの貫入試料にφ20mmの軽石を混入する。深度14.00mの貫入試料は火山灰質砂を含み、細砂主体で含水量多く脆弱である。深度15.00m付近でφ400mm程度の転石有り。深度18.00m以深、火山灰質砂を多く含み、細砂主体となる。深度19.00mの貫入試料にφ50mmの軽石を混入する。										
9				砂		褐 灰		rd1												
10				砂		褐 灰		rd1												
11				砂		褐 灰		rd1												
12				砂		褐 灰		rd1												
13				砂		褐 灰		rd1												
14				砂		褐 灰		rd1												
15				砂		褐 灰		rd1												
16				砂		褐 灰		rd1												
17				砂		褐 灰		rd1												
18				砂		褐 灰		rd1												
19				砂		褐 灰		rd1												
20	-15.26	20.00		砂		褐 灰		rd1												

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 平成30年度 鹿児島港巡視船基地係留設備等設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	No. 3	調査位置	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目1-11	北 緯	31° 28' 21.3"
発注機関	海上保安庁第十管区海上保安本部総務部	調査期間	2018年 8月 2日 ~ 2018年 8月 6日	東 経	130° 31' 59.8"
孔口標高	DL+ 4.67m	角 度		使用機種	ワイビーエム製 YEM05型
総削孔長	20.15m	方 位		エンジン	ヤンマー製 NFD10型
				ポンプ	ワイビーエム製 GP5型

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 日							
												深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量											
	4.37	0.30	原裝工(コンクリート)	原裝工(コンクリート)	原裝工(コンクリート)	灰				補強																	
	4.07	0.60	原裝工(砂石)	原裝工(砂石)	原裝工(砂石)	灰				砂石																	
	3.97	0.70	原裝工(シラシ)	原裝工(シラシ)	原裝工(シラシ)	灰				砂石																	
1			埋土(シラシ)	埋土(シラシ)	埋土(シラシ)	灰褐色		非常に緩い		細砂主体。φ10mmの礫石を混入する。部分的に細粒分を多く含む。	8/2 2.40		14	1.15	4	5	14	300									
2			埋土(砂)	埋土(砂)	埋土(砂)	灰褐色		非常に緩い		砂は細~中砂主体。上部にφ2~5mmの貝殻を混入する。深度5.00m~8.00m間、火山灰質砂を混入する。φ20mmの礫石を含む。深度7.00、8.00mの貫入試料は細砂主体で含水量非常に多く脆弱である。	8/2 2.40		4	2.45	1	20	2	4	300	2.15	3-1	物理					
3	1.52	3.15				灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		11	3.15	3	4	11	300									
4						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		6	4.15	2	2	6	300									
5						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		7	5.15	2	2	3	7	300								
6						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		6	6.15	2	2	6	300	6.15	3-2	物理						
7						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		0	7.15	自沈	0	650										
8						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		0	8.15	自沈	0	550										
9	-1.21	8.90				灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		6	9.15	1	2	3	6									
10						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		7	10.15	2	2	3	7									
11						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		2	11.15	1	1	2	2									
12						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		7	12.15	3	2	7	300									
13						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		6	13.15	2	2	6	300									
14						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		6	14.15	2	2	6	300	14.15	3-3	物理						
15						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		0	15.15	自沈	0	650										
16						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		11	16.15	3	4	11	300									
17						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		11	17.15	4	4	11	300									
18						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		12	18.15	3	4	12	300									
19						灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		10	19.15	3	3	10	300									
20	-15.33	20.00				灰褐色		非常に緩い			8/2 2.40		11	20.15	3	4	11	300									

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 平成30年度 鹿児島港巡視船基地係留設備等設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	No. 4	調査位置	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目1-11	北 緯	31° 28' 25.3"
発注機関	海上保安庁第十管区海上保安本部総務部	調査期間	2018年 7月 30日 ~ 2018年 8月 1日	東 経	130° 32' 0.4"
孔口標高	DL+ 4.68m	角 度		試験機	ワイビーエム製 YEM05型
総削孔長	20.15m	方位		エンジン	ヤンマー製 NFD10型
				ポンプ	ワイビーエム製 GP5型

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室 原 内 置 試 験	削 孔 月 日								
												深 度 - N 値 図		N 値	深 度 (m)	100mm ごと の 打撃 回数				打撃 ごと の 貫入 量	50 回 の 貫入 量	自 沈 時 の 貫入 量	深 度 (m)	試 料 取 出 方 法			
1	4.38	0.30	原状土 (コンクリート)	原状土 (コンクリート)						補強	7/30	13	1.45	5	5	3	13										
2	4.02	0.65	原状土 (砂石)	埋土 (シルラス)		淡褐色 / 灰褐色	rdl			細砂主体、φ2~30mmの軽石を混入する。部分的に細粒分を多く含む。		2	2.49	1	1	2	2	340									
3	3.93	0.75	原状土 (シルラス)	埋土 (シルラス)		褐色 / 灰褐色						3	3.44	1	1	1	1	500	4-1	物理							
4	1.03	3.65		埋土 (シルト混じり砂)		褐色 / 灰褐色		非常に緩い ~ 緩い		砂は細~中砂主体。上部にφ2~5mmの貝殻片を混入する。深度5.00~8.00m間、火山灰質砂を多く含む。軽石を混入する。深度8.00mの貫入試験は含水量非常に多く、脆弱である。部分的に数cmの砂質シルトを挟む。		4	3.65	1	1	2	4	300	4-2	物理							
5												5	4.41	1	2	2	5										
6												6	4.41	1	1	2	4										
7												7	4.41	1	2	1	4										
8												8	7.15	1	2	1	4										
9	-4.47	3.15										9	8.45	2	2	3	7										
10												10	10.16	1	2	4	7										
11												11	11.45	2	1	2	5										
12												12	12.15	1	2	2	5										
13												13	12.45	2	1	2	5										
14												14	13.15	2	1	1	4										
15												15	14.45	5	5	5	15										
16												16	16.15	3	4	4	11										
17												17	17.15	3	4	4	11										
18												18	18.15	4	3	4	11										
19												19	19.15	3	3	4	10										
20	-15.32	20.00										20	20.15	3	3	4	10										